

平成30年度

事業計画及び収支予算書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

公益財団法人高知市文化振興事業団



# 目 次

## ■事業計画

はじめに .....	1
I 基本方針 .....	2
II 事業計画	
1 自主文化事業計画 .....	3
(1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」	
(2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」	
(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」	
(4) 目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」	
(5) 情報発信等	
2 第70回高知市文化祭事業計画 .....	5
(1) 活動支援事業	
(2) 文化祭開幕行事	
(3) 高知市展	
3 中央公民館事業計画 .....	6
(1) 生涯学習事業	
(2) 第68回高知市夏季大学	
(3) 貸館事業	
4 横山隆一記念まんが館事業計画 .....	7
(1) 企画展	
(2) 第14回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」及び関連記念事業	
(3) 『まんさいーこうちまんがフェスティバル2018』	
(4) まんが体験イベント	
(5) まんが文化の振興に関する活性化計画の策定	
(6) 資料整理事業	
(7) その他	

## ■収支予算書

●収支予算書 .....	9
(1) 収支予算書	
(2) 収支予算内訳表	
(3) 資金調達及び設備投資の見込み	
(4) 資金収支予算書	

## 平成30年度事業計画

### はじめに

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、市民による芸術・文化の創造活動の日常化や文化の時代にふさわしい高知の文化活動の活性化を目指し、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。

高知市文化プラザかるぼーと開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役として重要な役割も担っている。

この間、芸術・文化を取り巻く状況が大きく変化したことから、平成26年に事業団設立30周年を迎えたことを契機として、新たな事業推進指針を定め、「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を基本理念と定めた。

平成30年度は、前年度に引き続きこの基本理念を踏まえて自主文化事業、文化祭事業及びまんが館事業を展開するとともに、中央公民館事業の推進に当たっては、市民の幅広い学習活動や学習成果の活用等に資する事業を行うものとする。

これらの事業の実施に当たっては、高知市文化振興ビジョンとの整合を図りながら、市民文化の新たな創造を目指すこととし、平成30年度は次の基本方針によって各種事業の効果的な展開を図るものとする。

また、平成30年2月には、高知市文化振興ビジョンが改訂されたことから、これに盛り込まれている中央公民館の利用促進及び新たなまんが文化の振興に向けた計画づくりに取り組むものとする。

# I 基本方針

## 1 自主文化事業

事業推進指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、次の4つの目標に沿って事業を実施し、市民が誇りを持って日常的に芸術・文化の創造活動に向き合える土壌づくりに取り組む。

各種事業の実施に当たっては、「芸術文化体験や創造活動によるまちづくりや地域づくり」も視野に入れるなど、高知市文化振興ビジョン〔改訂版〕との整合を図ることとし、学校や地域などへのアウトリーチ活動やワークショップ活動は、一層の充実を図るとともに、事業団ならではのネットワークを活かして市民や学校教育との協働・連携を積極的に進める。

目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

目標4 すそ野を広げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

## 2 文化祭事業

本年度、70回を迎えることから、開幕行事を特別記念公演とする。より幅広い世代に向けて作品発表や公演機会を提供し、市民による文化活動を支援する。芸術文化の鑑賞の機会を創出するとともに、子ども達に創造の喜びを伝える事業を推進することで、本市の文化の振興と向上を図る。

## 3 中央公民館事業

中央公民館の運営による多彩な生涯学習活動の場を提供することを通じて、市民による自発的な地域の活性化に結び付く取り組みを進める。

改訂された高知市文化振興ビジョンで、コンベンション会場としての中央公民館の利用促進が求められることなどから、学習室全般の貸館利用の促進のため、運用基準の見直し等の利用促進プランを策定する。

## 4 まんが館事業

今年度は、去る2月に追加寄贈を受けた横山隆一氏の新資料による企画展を開催するとともに、民間企業との共催による3つの企画展を開催する。

16回目を迎えるまんがフェスティバルについては、高知市の「まんがによるまちづくり事業」の位置付けを考慮して、一層の充実を図る。

入館者の増加対策として、28年度に整備された多言語対応を活かして訪日外国人観光客の誘致を積極的に促進する。

改訂された高知市文化振興ビジョンで、まんが館開館以来の成果を踏まえた一層のまんが文化の振興に取り組むことが求められていることから、活性化計画の策定に取り組むものとする。

こうした取組を通じて「まんが王国土佐」の確立・強化に取り組む他、県や民間の企画とも共同してまんが文化の活性化を進める。

## II 事業計画

### 1 自主文化事業計画

文化振興ビジョンの「文化振興の具体的な進め方」との相関性を図りながら、事業推進指針に掲げた基本理念を実現するための4つの目標に基づき、話題性や多様性のあるプログラムの提供を行っていく。

#### (1) 目標1 つながる・つなげる～「市民協働・連携の推進」

市民や関係団体などの協働のパートナーの活動を尊重しながらサポートし合い、「文化の協働」を推進するとともに、創造活動を通じた子ども達の社会参加を促す事業を実施する。

<b>キッズフリーマーケット2018</b>	30. 7. 1(日)
小学生を対象に、遊びを通して経済活動や人とのコミュニケーションを学んでもらうプログラム。企画運営には高知銀行をはじめ、企業参加を募り、社会貢献事業としての取り組みをアピールする。	
<b>「四国素展～芸術資本宣言～」</b>	30. 8. 7(火)～12(日)
香川・徳島の障害者福祉団体を含む実行委員会との共同主催事業。障害のある人々から生み出されるアートは、根源的な本能に基づいた“真摯な表現”であり、現代社会の抱える課題を解決していくためのヒントとなり得るResources(資源)である。全国の参加施設からの絵や立体造形、映像を展示するとともに、地域活動につながった事例なども紹介する。	
<b>とさつ子タウン2018</b>	30. 8. 25(土)・26(日)
とさつ子タウン実行委員会との協働事業。小学4年生から中学3年生を対象に仮想のまちで仕事を覚え、働き、学び、楽しみながら政治参加や納税などの社会の仕組みを学ぶプログラム。	
<b>高知街ラ・ラ・ラ音楽祭</b>	30. 9. 16(日)
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会との協働事業として開催する県下最大規模の音楽イベント。県内外から約120組が参加、市内約10個所で演奏する予定。	
<b>かるぼーと大階段コンサート</b>	30年秋(予定)
かるぼーとの指定管理者・高知市文化プラザ共同企業体の事業への連携・協力。	

#### (2) 目標2 生み出す～「次世代につなぐ高知の文化資産の継承・創造・発信」

高知に紡がれてきた美術、映像、まんが、文芸作品などの有形、無形の文化資産を継承するとともに、高知ならではの文化を創造し発信するため、中央で活躍するアーティストとともに作品を創り上げる事業等を実施する。

<b>武政英策記念「あなたの知らないむかーしむかしの土佐のうた(仮)」</b>	(未定)
高知を代表する作曲家・武政英策氏の遺した膨大な資料を活用する事業。氏の生み出した音楽と業績を未来へつなぐことを目的とするもの。土佐のわらべうたや民謡などを子ども達に紹介し親しんでもらう。活用する資料は、武政氏ご遺族から高知市への寄贈を前提として事業団に寄託されたもの。	
<b>第35回写真コンテスト・高知を撮る</b>	30.12募集開始
過去から現在に至るまでの高知県内の出来事や風景、人々の暮らしを写真で記録し、高知の様々な表情を伝えるとともに、未来の高知のあるべき姿を考える。	
<b>第29回高知出版学術賞</b>	30.12.10募集開始
当該年における最もすぐれた学術出版を顕彰することによって、学術研究の振興を図り、県勢の進展に資することを目的とする。	
<b>高知の音楽活性化事業</b>	31. 2(予定)
平成21年度から継続的に取り組んでいる音楽活性化事業。3日間のおんかつプログラムによりアウトリーチ、大ホールでのコンサートを開催。アーティストは、東京を中心に活躍中の若手注目株の演奏者を予定。	

(3) 目標3 育む～種をまき続け、ともに育つ「きっかけづくりと人材育成」

文化に親しむきっかけづくりとしての事業や、新たな鑑賞者の育成、芸術文化活動の担い手を育てるための人材育成事業を実施する。

<b>イタリア児童劇団 La Baracca「さかさまのお話」</b>	30. 8. 1(水)・2(木)
イタリアの老舗児童劇団La Baracca (ラ・バラッカ) による子ども向け演劇公演。手書きの絵やシンプルな小道具と身振り手振りで物語が進んでいくため、日本の子ども達も十分に楽しめる作品となっている。中四国圏でのツアー公演を予定しており、各劇場間における新しいつながりの構築を目指す。	
<b>出前うたごえ喫茶(仮)</b>	30. 10(予定)
平成28年度に実施した「うたごえ in 高知」をさらにスケールアップする。中高年が気軽に音楽に触れられる参加型の催しを望む前回のアンケート結果にこたえるもの。東京・新宿の「うたごえ喫茶ともしび」のメンバーとともに、観客が歌い交わす。	
<b>若手美術作家支援事業及び次年度準備</b>	31. 1. 12(土)～20(日)
若手美術作家支援の企画展第3弾。出展作家を公募し、1ブースに作家1名(または1グループ)の作品展示と同時に販売を行う。鑑賞者らとの交流や意見交換のため作家が在廊し、単なる鑑賞・販売の場とするのではなく、作家と愛好家が直接出会うきっかけづくりの場を提供する。	
<b>創造プログラム(2年目)市民劇「幸せとは?」</b>	31. 3(予定)
3年継続の地域創造の創造プログラムの2年目の事業で、演出家・多田淳之介氏による市民参加型演劇公演。4月に「劇場演劇ワークショップ スポットライトをあびてみよう!」を実施、12月に市民劇参加者募集を兼ねたプレワークショップ、31年1月から稽古を約1カ月間行い、3月公演予定。	
<b>美術アドバンスドセミナー</b>	(未定)
アーティストの発掘・育成・高知からの発信を目的に、第一線で活躍する芸術家を講師として県内外から招いた講座を開催する。	
<b>アーティストバンク</b>	通年
地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報など広く発信する。	

(4) 目標4 すそ野を拡げる～「優れた芸術・文化の提供による鑑賞者の育成」

優れた芸術・文化の鑑賞機会を幅広く提供し、鑑賞者を育成するとともに、芸術・文化を理解する市民のすそ野を拡げる事業を実施する。

<b>フィジカルシアターカンパニーGERO「家族という名のゲーム」</b>	30. 6. 28(木)
平成27年に振付家・ダンサーの伊藤キムが新たに立ち上げたフィジカルシアターカンパニーGEROによる公演。28年度に実施したGERO活動プロジェクトの集大成として作られた作品。	
<b>サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス</b>	30. 8(予定)
空中ブランコやジャグリング、パーカッション演奏に合わせたアクロバットチームによる演技など、夏休みに親子で楽しめる舞台サーカス。サーカスはロシアでは、バレエや音楽と同じように国民的芸術として確立しており、バレエの振付家や照明プランナー、衣装デザイン、メイクアップアーティストとのコラボレーションによる芸術性の高い演出が見どころの舞台サーカスを、安価で紹介する。	
<b>公共ホール演劇ネットワーク事業 「笑酔亭梅寿謎解晰～立ち切れ線香の章」</b>	30. 10. 21(日)
地域創造による助成事業で、全国7つの劇場による連携企画。小説家田中啓文による落語を題材にした著作をベースにした演劇公演。劇中劇など複雑な劇構造は、今までにない舞台を観劇できる機会と考えられる。本事業では公演のほか地域交流プログラムとして、アウトリーチやワークショップも実施する。	
<b>劇団四季「こころの劇場」公演</b>	31. 2(予定)
劇団四季、舞台芸術センターとの共同主催事業として行う市内の小学6年生を無料招待する公演。子どもたちに「命の尊さ」「信じあう喜び」「人を思いやる心」など、生きていく上で大切なことを舞台芸術を通して語りかける。学校教育課と協力して開催する。平成21年度から開催しているこの公演は、今回で10回目となる。	

## (5) 情報発信等

機関誌『文化高知』や「年間行事案内」の発行、高知市広報『あかるいまち』や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事などを通して、かるぼーとや事業団の情報を広く周知し、文化事業の周知に努める。また、ホームページだけでなく平成29年度に立ち上げたフェイスブックなどインターネットでのPRをさらに活用していくとともに、サポーターズクラブ「Cu1ちゃーず」の会員増に努める。

## 2 第70回高知市文化祭事業計画（受託事業）

市民文化の発展のために市民文化団体の自発的な活動がより活性化することを目的とし、各分野の市民文化団体との協働・連携を深めながら、以下の3事業に取り組む。

### (1) 活動支援事業

高知市文化祭に参加するコンサート、展示会等の文化行事に対する支援を柱に、本事業を幅広い世代に周知し、若年層の文化活動にも支援拡大することで、文化祭の若返りと活性化を目指す。

### (2) 文化祭開幕行事

第70回の特別記念として、4月8日（日）に大ホールで「土佐の息吹 鼓童と舞踊による芸術の融合」を上演する。佐渡に拠点を置く太鼓芸能集団「鼓童」と高知で活躍するダンサーとのコラボレーションにより、太鼓に情熱を燃やし散っていった土佐の若者の生きざまを表現する“土佐の息吹”をお伝えする。

### (3) 高知市展

5月26日（土）から6月10日（日）の会期でアンデパンダン（公募・無審査）方式により実施する10部門の総合美術展。関連イベントとして、6月3日（日）に小中学生を対象とした「こどもアートまつり あなたダビンチ ぼくピカソ」を開催する。

市展の会期前・会期中に各部門の講習会・研究会を行い、初心者体験の機会や出品者の研鑽の場を提供する。姉妹都市である北海道北見市から招待した作品も展示し、秋には北見市で行われる美術展に市展の作品を出品する。



### 3 中央公民館事業計画（受託事業）

これまでの事業を継続しながら、市教育委員会と綿密に連携をとり、事業の円滑な推進や事業内容の質的向上に努める。

#### (1) 生涯学習事業

市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応しつつ、社会教育、生涯学習に求められるものを把握し、各種講座では現代的課題に即したテーマを扱うことによって、多様な学習機会の提供に努める。

講 座 名
市民学校（春・秋・年末特別・作品展）
市民講座（初夏・秋冬）
いきいきセカンド☆ライフ講座（前後期各3コース）
高知市民の大学（83期・84期、各2コース）
市民映画会（3回）
高知市民頭脳スポーツ大会（5競技）

#### (2) 第68回高知市夏季大学

7月17日(火)から7月28日(土)の日・月曜日を除く10日間、開講する。

政治・経済・世界情勢・文化等の幅広い分野から、市民の関心や話題性が高く知名度のある講師を招き、入場者数の増加を図る。

また、現代社会のさまざまな課題について市民に学び考える機会を提供する。

#### (3) 貸館事業

貸館基準の見直しを行った、平成26年8月以降、利用者数、稼働率は向上していたが、近隣の類似施設の開館の影響等で今後厳しい状況が続くことが予想されることから、複合施設としての特徴を活かした大小ホールやギャラリー等と大講義室等の併用において、指定管理者と連携し、柔軟な対応をすることにより利用率の増加に努める。

さらに、中央公民館の講座等の修了者が継続して参加し、生涯学習サークルへの発展を促すなど、新しい層、特に若い世代が公民館に足を運ぶ仕組みづくり等生涯学習の中核拠点としての利活用を目指すとともに、改訂された高知市文化振興ビジョンを踏まえて、貸館の受付手続きの見直しなど、学習室等の利用促進プランを策定し、稼働率の向上を目指す。

#### 4 横山隆一記念まんが館事業計画(受託事業)

まんが館は、横山隆一の業績を広く顕彰するとともに、高知のまんが文化を継承することによって市民文化の振興に寄与することを目的としている。この目的を実現するため、隆一作品の展示、整理を行うとともに、様々なプログラムにより、市民が、まんが文化に親しみ、ユーモア精神に触れ、ゆとりと交流を楽しみながら、知的・創造的な刺激を受けられる場を提供するため、常設展示をはじめ、以下の事業を行う。

##### (1) 企画展ほか

本年度は、平成30年2月に横山家から新たに寄贈を受けた資料のうち、隆一の絵本原画を中心に紹介展示をおこなう。その展示に向けて新資料を優先的に点検・整理する。

また、本年度も民間企業との共催事業に積極的に取り組み、高知新聞社主催「まんが道場」の歴代入選作をメインにまんが甲子園入賞作品や税のまんが等を集めた高知のまんがあれこれ展&こうちまんが道場30周年記念展、県出身まんが家・イラストレーターの窪之内英策原画展を開催する。

テレビ高知共催企画展「窪之内英策原画展」(仮)	30. 4. 28(土)～ 7. 1(日)
高知県出身のまんが家でありイラストレーターの窪之内英策がキャラクターデザインを担当した、カップヌードルのCM「HUNGRY DAYS」シリーズの原画展。窪之内によるサイン会とライブドローイングも開催予定。	
「隆一えほん原画展」(仮)	30. 7. 14(土)～ 9. 24(月・祝)
まんが家として著名な横山隆一であるが、絵本も数多く残している。そのほとんどは絶版となっており現在はあまり知られていないが、昨年秋、出版社から大量の絵本原画が横山家に返却され、さらに当館へ寄贈された。この絵本原画に、既存の当館資料を加え展示紹介することで、隆一絵本の世界を伝えるとともに、新資料の公開の機会とする。また関連イベントとして、声優島本須美さんによる隆一絵本の朗読会を開催予定。	
「高知のまんがあれこれ展 & 高知まんが道場30周年記念展」(仮)	30. 10. 13(土)～11. 25(日)
「まんが甲子園」はじめ、その年に高知県内で行われた様々なまんがのコンテスト入賞作品や注目を浴びた地元キャラクターを一堂に集めて紹介する展覧会。また、高知新聞社主催の高知まんが道場が30周年を迎えたことを記念して、高知新聞社と共同主催の記念展を併催する。	
第14回「4コマまんが大賞展」	30. 12. 8(土)～31. 1. 14(月・祝)
第14回となる「4コマまんが大賞」の入賞作品を展示する	
「テレビ高知共催企画展」(仮)	31. 1月下旬～3月上旬
内容未定	
まんが・漫画・マンガ展! 2019	31. 3. 16(土)～4月で予定
地元のまんが活動を支援することを目的に、高知で活躍するまんがグループ「高知漫画集団」と「高知漫画グループくじらの会」に新作発表の場を提供。一般参加者も交えた描き下ろし競作も実施。会中には出展者による体験イベント指導やチャリティ似顔絵コーナーも設定する。	

##### (2) 第14回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連記念事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから、全国でも珍しい4コマまんがに限定したまんが賞を平成17年度に創設、本年度で14回目の開催となる。まんが王国・土佐を広くアピールし、まんがの原点である4コマまんがの普及に努める。

作品募集	募集期間:30. 4. 13(金)～ 9. 11(火) 予定
ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門での募集を行う。	
表彰式	30. 11. 3(土・祝)あるいは4(日)
「まんさいーこうちまんがフェスティバル2018」で行う予定	
4コマまんが大賞作品の展示	30. 12. 8(土)～31. 1. 13(日)
入賞作品を「4コマまんが大賞作品展」として展示。	

(3) 『まんさいーこうちまんがフェスティバル2018』

まんさいーこうちまんがフェスティバル2018	30.11. 3(土・祝)・4(日)
市民参加型の実行委員会が中心となり企画・運営を行う、「まんさいーこうちまんがフェスティバル2018」を開催する。11月3日の「まんがの日」にちなみ、直近の土日に、子どもから大人まで、「みる・かく・あそぶ」をテーマとしたまんが・アニメの祭典で、今年で16回目となる。まんがグッズづくりや声優トークショーなど、さまざまなコーナーを展開。 また中心商店街の活性化に寄与するため、商店街エリアでも、まんが・アニメを切り口としたイベントを実施し、「まんが王国・土佐」の受け皿作りの一翼も担っていく。	
こまんさい(関連事業)	31. 3月上旬開催予定
春先恒例の観光イベント「土佐のおきゃく」において「こまんさい」と題して、実行委員会が中心となり、まんさいの関連イベントを実施する。	

(4) まんが体験イベント

子どもたちにまんがに親しんでもらうため、まんがを用いて工作する機会を提供する体験イベントを夏休みや冬休みに行い、まんが文化の担い手育成に努める。講師は地元まんが家などに依頼する。

(5) まんが文化の振興に関する活性化計画の策定

まんが館は開館して16年が経過し、来館者の減少等の様々な課題が顕在化している。こうした状況を打開し「まんが王国・土佐」における「まんが文化の殿堂」として評価されるため、幅広い分野における改革が求められる。

これまでのまんが館における各種の取り組み等を検証し、中長期的な視点に立った展望を見いだす必要がある。平成30年2月には、高知市において「高知市文化振興ビジョン」の改訂が行われたことや国におけるまんが文化に対する最近の評価の変化など、最近の動向を踏まえて、今後10年間にわたるまんが館の活性化に向けた計画を策定するものとする。

(6) 資料整理事業

前年度、新たに横山家より寄贈された資料460点余りの中から、夏の企画展「隆一えほん原画展(仮称)」で使用する絵本原画の整理に重点を置きつつ、未整理資料の収蔵管理システムへのデータ登録作業を進めていく。また、通常業務として新聞の切り抜き・チラシ・パンフ等まんが関連資料の整理・保存を行う。

(7) その他

- ① 館報『FUKU-FUKU』と年報の発行。
- ② ホームページ、高知市や事業団広報枠の活用及び各情報誌等での広報活動の他、まんが館事業の情報発信を図るため文化・観光施設等とも連携を図る。  
(高知お城下文化施設の会、こうちミュージアムネットワーク他)
- ③ ライブラリーの特設コーナーを時々の話題に応じて企画・展開する。
- ④ 来館者増につながる観光イベントへの積極的な参加。
- ⑤ まんが文化に関する講演・講座依頼等への対応。
- ⑥ 全国のまんが及び博物館関係の研修会や連絡会への参加。
- ⑦ 28年度末に多言語で整備した、パンフレットや館内案内を活用して、外国人客の集客にも努める。
- ⑧ 学芸員実習生等の受け入れ。

# 収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,000	2,000	0
基本財産運用利息	2,000	2,000	0
事業収益	154,474,000	156,134,000	-1,660,000
文化事業収益	7,660,000	14,611,000	-6,951,000
文化事業収益	6,860,000	13,421,000	-6,561,000
まんが館事業収益	410,000	800,000	-390,000
会費収益	240,000	240,000	0
出版物売払収益	150,000	150,000	0
文化事業受託収益	146,814,000	141,523,000	5,291,000
高知市文化祭事業受託収益	7,088,000	7,336,000	-248,000
中央公民館事業受託収益	53,190,000	51,461,000	1,729,000
まんが館事業受託収益	44,942,000	43,090,000	1,852,000
運営管理受託収益	41,594,000	39,636,000	1,958,000
受取補助金等	64,044,000	66,834,000	-2,790,000
受取地方公共団体補助金	62,934,000	65,198,000	-2,264,000
財団管理運営補助金	5,728,000	5,710,000	18,000
文化事業補助金	46,812,000	49,557,000	-2,745,000
文化活動等助成事業補助金	10,394,000	9,931,000	463,000
受取民間助成金	1,110,000	1,636,000	-526,000
事業助成金	1,110,000	1,636,000	-526,000
受取寄付金	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	0
雑収益	1,912,000	1,715,000	197,000
雑収益	1,912,000	1,715,000	197,000
運営管理事業雑収益	63,000	54,000	9,000
中央公民館実習材料販売等雑収益	1,756,000	1,520,000	236,000
まんが館事業雑収益	93,000	141,000	-48,000
<b>経常収益計</b>	<b>220,442,000</b>	<b>224,695,000</b>	<b>-4,253,000</b>

# 収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	215,263,000	219,826,000	-4,563,000
役員報酬	1,904,000	1,896,000	8,000
給料	50,936,000	47,830,000	3,106,000
手当	34,691,000	32,175,000	2,516,000
賃金	15,392,000	15,539,000	-147,000
福利厚生費	21,799,000	20,280,000	1,519,000
食糧費	428,000	732,000	-304,000
旅費交通費	4,347,000	10,613,000	-6,266,000
通信運搬費	1,882,000	2,145,000	-263,000
減価償却費	2,148,000	2,288,000	-140,000
消耗什器備品費	0	126,000	-126,000
消耗品費	3,805,000	3,306,000	499,000
修繕費	300,000	494,000	-194,000
印刷製本費	4,168,000	4,431,000	-263,000
燃料費	106,000	118,000	-12,000
賃借料	11,058,000	11,417,000	-359,000
広告宣伝費	1,057,000	1,541,000	-484,000
保険料	418,000	522,000	-104,000
委託費	29,373,000	33,703,000	-4,330,000
諸謝金	17,607,000	17,877,000	-270,000
租税公課	5,843,000	4,968,000	875,000
負担金	6,756,000	6,815,000	-59,000
雑費	1,245,000	1,010,000	235,000
管理費	7,019,000	6,929,000	90,000
役員報酬	3,244,000	3,222,000	22,000
給料	515,000	483,000	32,000
手当	926,000	840,000	86,000
賃金	97,000	98,000	-1,000
福利厚生費	1,085,000	1,021,000	64,000
食糧費	4,000	4,000	0
通信運搬費	60,000	83,000	-23,000
減価償却費	7,000	89,000	-82,000
消耗品費	23,000	16,000	7,000
修繕費	10,000	10,000	0
印刷製本費	17,000	69,000	-52,000
燃料費	4,000	5,000	-1,000
賃借料	100,000	115,000	-15,000
広告宣伝費	260,000	253,000	7,000
保険料	108,000	104,000	4,000
委託費	456,000	398,000	58,000
諸謝金	23,000	39,000	-16,000
租税公課	4,000	4,000	0
負担金	69,000	69,000	0
雑費	7,000	7,000	0
経常費用計	222,282,000	226,755,000	-4,473,000
当期経常増減額	-1,840,000	-2,060,000	220,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,840,000	-2,060,000	220,000
一般正味財産期首残高	44,126,013	46,015,112	-1,889,099
一般正味財産期末残高	42,286,013	43,955,112	-1,669,099
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	52,286,013	53,955,112	-1,669,099

# 収支予算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科	目	公益目的事業	法人会計	合計
I	一般正味財産増減の部			
	1 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	2,000	2,000
	基本財産受取利息	0	2,000	2,000
	基本財産受取利息	0	2,000	2,000
	事業収益	153,190,000	1,284,000	154,474,000
	文化事業収益	6,668,000	992,000	7,660,000
	文化事業収益	5,868,000	992,000	6,860,000
	まんが館事業収益	410,000	0	410,000
	会費収益	240,000	0	240,000
	出版物売払収益	150,000	0	150,000
	文化事業受託収益	146,522,000	292,000	146,814,000
	高知市文化祭事業受託収益	7,088,000	0	7,088,000
	中央公民館事業受託収益	53,190,000	0	53,190,000
	まんが館事業受託収益	44,942,000	0	44,942,000
	運営受託収益	41,302,000	292,000	41,594,000
	受取補助金等	58,316,000	5,728,000	64,044,000
	受取地方公共団体補助金	57,206,000	5,728,000	62,934,000
	財団管理運営補助金	0	5,728,000	5,728,000
	文化事業補助金	46,812,000	0	46,812,000
	文化活動等助成事業補助金	10,394,000	0	10,394,000
	受取民間助成金	1,110,000	0	1,110,000
	事業助成金	1,110,000	0	1,110,000
	受取寄付金	0	10,000	10,000
	文化事業寄付金	0	10,000	10,000
	文化事業寄付金	0	10,000	10,000
	雑収益	1,909,000	3,000	1,912,000
	雑収益	1,909,000	3,000	1,912,000
	運営事業雑収益	60,000	3,000	63,000
	中央公民館実習材料販売等雑収益	1,756,000	0	1,756,000
	まんが館事業雑収益	93,000	0	93,000
	経常収益計	213,415,000	7,027,000	220,442,000

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	215,263,000	0	215,263,000
役員報酬	1,904,000	0	1,904,000
給料	50,936,000	0	50,936,000
手当	34,691,000	0	34,691,000
賃金	15,392,000	0	15,392,000
福利厚生費	21,799,000	0	21,799,000
食糧費	428,000	0	428,000
旅費交通費	4,347,000	0	4,347,000
通信運搬費	1,882,000	0	1,882,000
減価償却費	2,148,000	0	2,148,000
消耗品費	3,805,000	0	3,805,000
修繕費	300,000	0	300,000
印刷製本費	4,168,000	0	4,168,000
燃料費	106,000	0	106,000
賃借料	11,058,000	0	11,058,000
広告宣伝費	1,057,000	0	1,057,000
保険料	418,000	0	418,000
委託費	29,373,000	0	29,373,000
諸謝金	17,607,000	0	17,607,000
租税公課	5,843,000	0	5,843,000
負担金	6,756,000	0	6,756,000
雑費	1,245,000	0	1,245,000
管理費	0	7,019,000	7,019,000
役員報酬	0	3,244,000	3,244,000
給料	0	515,000	515,000
手当	0	926,000	926,000
賃金	0	97,000	97,000
福利厚生費	0	1,085,000	1,085,000
食糧費	0	4,000	4,000
通信運搬費	0	60,000	60,000
減価償却費	0	7,000	7,000
消耗品費	0	23,000	23,000
修繕費	0	10,000	10,000
印刷製本費	0	17,000	17,000
燃料費	0	4,000	4,000
賃借料	0	100,000	100,000
広告宣伝費	0	260,000	260,000
保険料	0	108,000	108,000
委託費	0	456,000	456,000
諸謝金	0	23,000	23,000
租税公課	0	4,000	4,000
負担金	0	69,000	69,000
雑費	0	7,000	7,000
経常費用計	215,263,000	7,019,000	222,282,000
当期経常増減額	-1,848,000	8,000	-1,840,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			-1,840,000
一般正味財産期首残高			44,126,013
一般正味財産期末残高			42,286,013
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	10,000,000
III 正味財産期末残高			52,286,013





資金調達及び設備投資の見込みについて  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1. 資金調達の見込みについて

期中に借入りの予定はありません。

2. 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以 上

# 資金収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

## 1 収入の部

(単位:円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
<b>1 基本財産運用収入</b>	<b>2,000</b>	<b>2,000</b>	<b>0</b>	
1 基本財産運用収入	2,000	2,000	0	
1 基本財産利息	2,000	2,000	0	
<b>2 事業収入</b>	<b>154,574,000</b>	<b>156,234,000</b>	<b>-1,660,000</b>	
1 文化事業収入	7,660,000	14,611,000	-6,951,000	
1 文化事業収入	6,860,000	13,421,000	-6,561,000	
2 まんが館事業収入	410,000	800,000	-390,000	
3 会費収入	240,000	240,000	0	
4 出版物売払収入	150,000	150,000	0	
2 文化事業受託収入	146,914,000	141,623,000	5,291,000	
1 高知市文化祭事業受託収入	7,088,000	7,336,000	-248,000	
2 中央公民館事業受託収入	53,190,000	51,461,000	1,729,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	44,942,000	43,090,000	1,852,000	〃
4 運営受託収入	41,694,000	39,736,000	1,958,000	〃
<b>3 補助金収入</b>	<b>64,044,000</b>	<b>66,834,000</b>	<b>-2,790,000</b>	
1 地方公共団体補助金収入	62,934,000	65,198,000	-2,264,000	
1 財団管理運営補助金収入	5,728,000	5,710,000	18,000	〃
2 文化事業補助金収入	46,812,000	49,557,000	-2,745,000	〃
3 文化活動等助成事業補助金収入	10,394,000	9,931,000	463,000	〃
2 民間助成金収入	1,110,000	1,636,000	-526,000	
1 事業助成金	1,110,000	1,636,000	-526,000	
<b>4 寄付金収入</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	<b>0</b>	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	0	
<b>5 雑収入</b>	<b>1,912,000</b>	<b>1,715,000</b>	<b>197,000</b>	
1 雑収入	1,912,000	1,715,000	197,000	
1 運営管理事業雑収入	63,000	54,000	9,000	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	1,756,000	1,520,000	236,000	
3 まんが館事業雑収入	93,000	141,000	-48,000	
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>220,542,000</b>	<b>224,795,000</b>	<b>-4,253,000</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>20,167,468</b>	<b>19,750,945</b>	<b>416,523</b>	
<b>合 計 (B)</b>	<b>240,709,468</b>	<b>244,545,945</b>	<b>-3,836,477</b>	

## 資金収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

### 2 支出の部

(単位:円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
<b>1 事業費支出</b>	213,053,000	217,523,000	-4,470,000	
役員報酬支出	1,904,000	1,896,000	8,000	
給料支出	50,936,000	47,830,000	3,106,000	
手当支出	34,691,000	32,175,000	2,516,000	
貸金支出	15,392,000	15,539,000	-147,000	
福利厚生費支出	21,799,000	20,280,000	1,519,000	
食糧費支出	428,000	732,000	-304,000	
旅費交通費支出	4,347,000	10,613,000	-6,266,000	
通信運搬費支出	1,882,000	2,145,000	-263,000	
消耗什器備品費支出	0	126,000	-126,000	
消耗品費支出	3,785,000	3,306,000	479,000	
修繕費支出	300,000	494,000	-194,000	
印刷製本費支出	4,126,000	4,416,000	-290,000	
燃料費支出	106,000	118,000	-12,000	
賃借料支出	11,058,000	11,417,000	-359,000	
広告宣伝費支出	1,057,000	1,541,000	-484,000	
保険料支出	418,000	522,000	-104,000	
委託費支出	29,373,000	33,703,000	-4,330,000	
諸謝金支出	17,607,000	17,877,000	-270,000	
租税公課支出	5,843,000	4,968,000	875,000	
負担金支出	6,756,000	6,815,000	-59,000	
雑費支出	1,245,000	1,010,000	235,000	
<b>2 管理費支出</b>	7,012,000	6,840,000	172,000	
役員報酬支出	3,244,000	3,222,000	22,000	
給料支出	515,000	483,000	32,000	
手当支出	926,000	840,000	86,000	
貸金支出	97,000	98,000	-1,000	
福利厚生費支出	1,085,000	1,021,000	64,000	
食糧費支出	4,000	4,000	0	
通信運搬費支出	60,000	83,000	-23,000	
消耗品費支出	23,000	16,000	7,000	
修繕費支出	10,000	10,000	0	
印刷製本費支出	17,000	69,000	-52,000	
燃料費支出	4,000	5,000	-1,000	
賃借料支出	100,000	115,000	-15,000	
広告宣伝費支出	260,000	253,000	7,000	
保険料支出	108,000	104,000	4,000	
委託費支出	456,000	398,000	58,000	
諸謝金支出	23,000	39,000	-16,000	
租税公課支出	4,000	4,000	0	
負担金支出	69,000	69,000	0	
雑費支出	7,000	7,000	0	
<b>3 予備費支出</b>	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	0	
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>220,165,000</b>	<b>224,463,000</b>	<b>-4,298,000</b>	
<b>当期収支差額 (A)-(C)</b>	<b>377,000</b>	<b>332,000</b>	<b>45,000</b>	
<b>次期繰越収支差額 (B)-(C)</b>	<b>20,544,468</b>	<b>20,082,945</b>	<b>461,523</b>	